

荒地で明るく挑戦

重要、子供の食を考える

午後6時に入り、会場を明るくした二人の女性。実に楽しそうに語る。

テーマは「不耕作の荒地が豊受御古園のみで1年、自然農の立派な畑に再生」。語ったのが、京都府木津川市の『やればできる農園』の橋本晴美さんと松岡恵子さん。

私達は京都府木津市で自然農を行っています。名前がやればできる農園です。現在、売られている野菜は農薬や化学肥料、不自然なF1の野菜です。私達は自然の手で安心安全、美味しい野菜を作りたいと思います。

貸してもらった土地は耕作放棄地で草がボウボウで、誰も手をつけたくない、したくない、そんな荒地でした。やるしか



「食料危機は、第二次世界大戦以降、何十年にもわたって作られてきたもの」と語る印鑑氏

「やればできる」という言葉がよぎったので。草丈は長く、硬かったです。私達は剪定バサミで切ったのですが、少しづつしか切れませんでした。腕がパンパンになり本当に大変でした。ようやく土が見えてきたのですが、固い粘土質の土でした。ここは、元は田んぼだったので水はけが悪いところだったので。お天気が続くと土はカチカチの固くなり、雨が降ると、水が貯まる。野菜栽培には向いていない。そんな環境で

こんなところで野菜は育つのかと私達の心は沈んでいました。だけど諦めるわけにはいかなかった。そう決心して、まずやることは看板を設置することにしました。折れない心でやればよ

そうなる心でやればよる農園の看板を立てました。私達の心は、マックスに達したとは言ってもありません。やり手が明るく楽しくやるのが大切だ。きつと植物たちは感じ取っているのではないのでしょうか。

まず黒豆の大豆の種を撒きました。種は在来種です。種をまいたところに御古園を薄めたものをまきました。お願い御古園様と祈るよう撒いていきました。そしてこちらはサツマイモです。サツマイモは乾燥したサラサラした土で作ったほうが良いと言われています。ここは逆な環境でしたが、御古園を信じて撒きました。するとどうでしょう。サツマイモの葉はみるみるうちに大きくなってきました。こんなに葉っぱは元気な

すよ。周りに草も生えてきました。負けないように育てていきました。その後も御古園を撒き、つる返しを行いました。こちらは大豆と黒豆です。ヒザぐらいの高さだったけどドンドン大きくなって、腰の高さまで成長していきました。途中、草刈りをしましたが、カエリがビヨビヨン、カマキリにであったり、蝶々が飛んできたりして心が和やかになりました。私はフラワーエッセンスの東先生の弟子のセラピストなので、このヒラヤマのエッセンスを持っていきまして。そうして収穫の時を迎



14回日本の農業と食を考えるシンポジウム やればできる農園の橋本さんと松岡さん



THINK鎌倉メンバーの関守桂子さん



学校給食への有機食材採用活動に取り組む鈴木ともこさん



フラワーエッセンス研究家の東昭史氏

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

子どもたちに安心できる栄養価の高い食事をとってもらいたいという思いから動き出したご自身の経験を報告。一人からでも動き出せる、手伝ってくれる人や仲間があらわれる、という前向きなバイタリティで、区長や世田谷区の担当課にアプローチしたり、区議会議員を招いて「いただきます」という食育の映画の上映会を開催したりしています。

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

工業的農業に未来なし

印鑑氏、解決策を提示

来賓講演では印鑑智哉氏(世界の食問題研究家)が「OKシードプロジェクト事務局」が食料危機と工業的農業の問題点と解決の方向性をわかりやすく解説した。

食料危機は、第二次世界大戦以降、何十年にもわたって作られてきたもの

食料危機は、第二次世界大戦以降、何十年にもわたって作られてきたもの

大豆、トウモロコシの生産では世界一を競います。が、主食の米、小麦は輸入に頼っています。

日本でも、お米はある程度は自給していますが、小麦87%、大豆94%、トウモロコシ99%が輸入に依存しており、飼料のほとんどが輸入、野菜の種子は9割が輸入の状況です。実質的に貿易

大豆、トウモロコシの生産では世界一を競います。が、主食の米、小麦は輸入に頼っています。

大豆、トウモロコシの生産では世界一を競います。が、主食の米、小麦は輸入に頼っています。

が途絶えたら、お米とイモくらいしか食べられない状況になっています。

工業的農業は、化学肥料・農薬・種子の3点セットで、モノカルチャー(少品種大産生)による

また、工業的農業は気候を破壊しています。工場の畜産による糞尿により、大気汚染、水質汚染、抗生物質耐性菌の発生し、森林伐採による農地拡大で自然破壊し、

また、工業的農業は気候を破壊しています。工場の畜産による糞尿により、大気汚染、水質汚染、抗生物質耐性菌の発生し、森林伐採による農地拡大で自然破壊し、

気候変動ガスの排出の原

さらには、遺伝子組み換え作物、ゲノム編集の作物の促進がなされ、生態系にも危険である可能性が高い状況になっています。

解決策としては、①生態系を復活させる有機農業・アグロエコロジー

解決策としては、①生態系を復活させる有機農業・アグロエコロジー

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。

「映画に来て涙を流していた議員さんが、ついに食を考える会世田谷」世話人の鈴木ともこさん(Chhom学生) 鈴木ともこさんからはオーガニック給食を世田谷区に導入するための、市民レベルの取り組みが発表された。「子どもだけではない、私たちの問題。有機食材が給食で採用されれば、ほんの少しづつでも自然農法の農家さんが増えていく。私たち一人一人に関係がある事です」と強い思いを語った。